

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-016

PDCA	事務事業名	福祉文化会館管理運営事業	部課等名	教育部生涯学習課 施設担当	担当	瀧本	
					内線等	23-7331	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 1. 生涯学習 単位施策： (1) 生涯学習の拠点の充実 個別施策： ①生涯学習センター機能の拡充					
	根拠法令等	半田市文化会館条例、半田市立公民館条例、半田市老人福祉センター条例、半田市ひとり親家庭福祉センター条例					
	対象・目的	福祉、教育及び文化振興の活動拠点として、半田市福祉文化会館（雁宿ホール）を適切に管理運営する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	主な利用団体である福祉登録団体や社会教育関係団体、また14地区公民館との連携を図り、生涯学習活動の活動拠点として適切な管理運営を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①文化会館利用者数	69,568	72,966	10,521	人	
		②中央公民館利用者数	62,112	64,246	27,086	人	
		③福祉センター利用者数	22,589	24,454	11,687	人	
		事業費	83,544	82,992	73,824	千円	
		人件費	26,539	26,569	26,257	千円	
		総事業費	110,262	109,561	100,081	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①半田市福祉文化会館利用者1人あたりの管理運営コスト	714	677	2,050	円/人		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①ホールの稼働率	実績値	50.7	53.8	32.2	%
			目標値	52.0	60.0	60.0	
		②講堂の稼働率	実績値	61.1	66.6	49.2	%
			目標値	75.0	75.0	75.0	
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C					
		新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月と5月は臨時休館（ホールと講堂は6月まで利用中止）した。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の利用人数を定員の半数に制限したことにより、文化会館、中央公民館、福祉センターの利用人数は前年度と比較して減少した。また、利用可能な期間の稼働率は、ホール（10月から3月まで舞台機構更新工事のため利用中止）が32.2%、講堂が49.2%となった。なお、令和2年度は、駐車場整備工事や舞台機構更新工事などを実施して利用環境を整備することができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	半田市福祉文化会館は築30年以上経過しており、老朽化対策が課題になっている。令和2年度に策定した「半田市福祉文化会館長寿命化計画」に基づき、予防保全による施設改修を行い、計画的な修繕により、施設の長寿命化を図る。				
		令和3年度の目標	成果指標	目標値		単位	
			①ホールの稼働率	60.0		%	
			②講堂の稼働率	75.0		%	